



2027年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月28日

上場会社名 株式会社システムリサーチ

上場取引所

東・名

コード番号 3771

URL <https://www.sr-net.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 平山 宏

問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長

（氏名） 太田 吉信

（TEL）052-413-6820

半期報告書提出予定日 2026年11月13日

配当支払開始予定日

—

決算補足説明資料作成の有無

: 有

決算説明会開催の有無

: 有

（投資家およびアナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年4月1日～2026年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	15,169	6.8	1,464	△3.6	1,466	△4.2	1,014	△9.5
2026年3月期中間期	14,194	12.3	1,519	24.3	1,531	23.6	1,121	24.5

（注）包括利益 2027年3月期中間期 1,015百万円（△9.6%） 2026年3月期中間期 1,124百万円（24.6%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	61.11	—
2026年3月期中間期	67.68	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	18,465	13,386	72.3
2026年3月期	19,458	13,485	69.1

（参考）自己資本 2027年3月期中間期 13,361百万円 2026年3月期 13,462百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2027年3月期	—	0.00	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	—	—	80.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,276	10.9	3,850	10.9	3,907	10.0	2,836	8.6	171.01

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期中間期	16,720,000株	2026年3月期	16,720,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	109,797株	2026年3月期	135,047株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年3月期中間期	16,592,167株	2026年3月期中間期	16,571,223株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2026年11月16日（月）に投資家およびアナリスト向けの説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料については、当日中に当社ホームページで掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
3. その他	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、継続的な賃上げや雇用・所得環境の改善、製造業の景況感の回復などを背景に、個人消費や企業の設備投資に持ち直しの動きが見られ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、長期化する物価上昇に伴う個人消費への影響や、中東情勢を巡る地政学的リスクの高まり、不安定な為替の変動など、依然として経済の先行きは不透明な状況となっております。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、日銀が発表した2026年9月の短観（企業短期経済観測調査）によると、2026年9月のソフトウェア投資計画は前年同期比10.3%増となり、DX（デジタルトランスフォーメーション）技術を活用した業務効率化や企業の基幹システム刷新、生成AIやAgentic AI（一般的にAIエージェントと呼ばれる）の活用拡大、成長分野へのデジタル投資などIT投資需要は依然として旺盛であることを示しております。

このような環境の中、当中間連結会計期間においては、企業のシステム構築を中心とするSIサービス業務は、大型案件の完了による開発フェーズから保守・運用フェーズへの移行および一部顧客におけるIT投資予算の見直し等により一括請負案件の受注が減少したため、売上高は5,129百万円（前年同期比4.1%減）となりました。ソフトウェア開発業務は、既存顧客の基幹システム刷新等の案件を準委任契約で受注したことにより、売上高は9,160百万円（前年同期比13.0%増）となりました。ソフトウェアプロダクト業務におきましては、中小企業向けパッケージソフトの売上が伸び悩んだことにより、売上高は180百万円（前年同期比4.8%減）となりました。商品販売では大型のIT設備販売案件を受注できたことから、パソコン・情報機器、ソフトウェア等の商品仕入れ販売により、533百万円（前年同期比31.5%増）、その他のWEBサイトの運営ならびにクラウドサービス（SaaS）等では、ネットショップ作成・運用クラウドサービス「イージーマイショップ」の流通金額が増加したことなどにより、売上高は164百万円（前年同期比10.7%増）となりました。

利益面におきましては、人件費や研修費・広告宣伝費等が増加したことにより、利益率が減少いたしました。加えて、事業所（開発センター）を売却したことにより固定資産売却損62百万円を計上いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間における連結業績は、売上高15,169百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益1,464百万円（前年同期比3.6%減）、経常利益1,466百万円（前年同期比4.2%減）、親会社株主に帰属する中間純利益1,014百万円（前年同期比9.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況の分析

当中間連結会計期間末の総資産は、売掛金及び契約資産、および土地が減少したことなどにより、18,465百万円（前期末比993百万円減）となりました。

当中間連結会計期間末の負債は、買掛金、および賞与引当金が減少したことなどにより、5,079百万円（前期末比894百万円減）となりました。

当中間連結会計期間末の純資産は、剰余金の配当を行ったものの、利益剰余金が増加したことなどにより、13,386百万円（前期末比98百万円減）となりました。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ57百万円増加し、8,487百万円（前年同期末は7,020百万円）となりました。

また、当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は、1,355百万円（前年同期は415百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益1,402百万円などの増加要因が、法人税等の支払額572百万円などの減少要因を上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により増加した資金は、52百万円（前年同期は480百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入177百万円が、有形固定資産の取得による支出75百万円などの減少要因を上回ったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により減少した資金は、1,350百万円（前年同期は1,118百万円の減少）となりました。これは主に、長・短期借入れによる収入205百万円、長・短期借入金の返済による支出394百万円や配当金の支払額1,160百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期中間連結会計期間および通期の業績予想につきましては、2026年5月11日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,429,775	8,487,665
売掛金及び契約資産	6,206,739	5,336,155
商品	49,971	41,385
貯蔵品	7,813	7,833
その他	103,573	185,408
流動資産合計	14,797,873	14,058,448
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,947,902	1,895,842
土地	1,401,875	1,202,996
その他(純額)	154,166	184,863
有形固定資産合計	3,503,944	3,283,702
無形固定資産		
のれん	49,150	16,383
ソフトウェア	214,796	216,985
その他	9,451	9,246
無形固定資産合計	273,399	242,615
投資その他の資産		
その他	883,578	880,588
投資その他の資産合計	883,578	880,588
固定資産合計	4,660,922	4,406,906
資産合計	19,458,796	18,465,354

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,483,980	1,241,926
短期借入金	—	42,000
1年内返済予定の長期借入金	580,580	463,940
未払法人税等	656,613	463,677
賞与引当金	1,493,513	1,191,987
その他	1,382,673	1,414,302
流動負債合計	5,597,360	4,817,833
固定負債		
長期借入金	376,357	261,309
固定負債合計	376,357	261,309
負債合計	5,973,717	5,079,142
純資産の部		
株主資本		
資本金	550,150	550,150
資本剰余金	525,556	535,277
利益剰余金	12,577,539	12,430,644
自己株式	△195,953	△159,315
株主資本合計	13,457,292	13,356,756
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,685	5,225
その他の包括利益累計額合計	5,685	5,225
非支配株主持分	22,100	24,229
純資産合計	13,485,078	13,386,211
負債純資産合計	19,458,796	18,465,354

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
売上高	14,194,435	15,169,034
売上原価	11,007,287	11,819,111
売上総利益	3,187,148	3,349,923
販売費及び一般管理費	1,667,520	1,885,514
営業利益	1,519,627	1,464,408
営業外収益		
受取利息	1,504	1,851
助成金収入	14,720	4,250
その他	983	1,787
営業外収益合計	17,208	7,888
営業外費用		
支払利息	5,761	6,133
営業外費用合計	5,761	6,133
経常利益	1,531,073	1,466,163
特別利益		
固定資産売却益	—	596
特別利益合計	—	596
特別損失		
固定資産売却損	—	62,685
固定資産除却損	269	1,433
特別損失合計	269	64,119
税金等調整前中間純利益	1,530,803	1,402,640
法人税等	406,511	386,459
中間純利益	1,124,292	1,016,181
非支配株主に帰属する中間純利益	2,712	2,129
親会社株主に帰属する中間純利益	1,121,579	1,014,051

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
中間純利益	1,124,292	1,016,181
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△160	△460
その他の包括利益合計	△160	△460
中間包括利益	1,124,131	1,015,720
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,121,419	1,013,591
非支配株主に係る中間包括利益	2,712	2,129

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,530,803	1,402,640
減価償却費	85,640	116,039
のれん償却額	32,767	32,767
賞与引当金の増減額(△は減少)	△273,242	△301,525
売上債権の増減額(△は増加)	△140,320	919,585
棚卸資産の増減額(△は増加)	△59,866	8,565
仕入債務の増減額(△は減少)	89,909	△245,203
その他	△335,518	△1,006
小計	930,172	1,931,863
法人税等の支払額	△509,834	△572,086
その他	△4,344	△4,245
営業活動によるキャッシュ・フロー	415,994	1,355,531
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△424,328	△75,951
有形固定資産の売却による収入	—	177,410
無形固定資産の取得による支出	△56,485	△48,466
投資活動によるキャッシュ・フロー	△480,814	52,992
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	220,000	105,000
短期借入金の返済による支出	△132,000	△63,000
長期借入れによる収入	200,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△412,477	△331,688
自己株式の取得による支出	△67	—
配当金の支払額	△993,944	△1,160,946
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,118,488	△1,350,634
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,183,308	57,889
現金及び現金同等物の期首残高	8,203,626	8,429,775
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,020,317	8,487,665

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計上すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. その他

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当中間連結会計期間における生産実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)	
	生産高(百万円)	前年同期比(%)
S I サービス業務	5,129	95.9
ソフトウェア開発業務	9,160	113.0
ソフトウェアプロダクト業務	180	95.2
その他	164	110.7
合計	14,635	106.1

(注) 金額は、販売価格によっております。

② 外注実績

当中間連結会計期間における外注実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)	
	外注高(百万円)	前年同期比(%)
S I サービス業務	1,972	89.6
ソフトウェア開発業務	3,707	111.8
ソフトウェアプロダクト業務	19	63.7
その他	17	114.9
合計	5,717	102.8

③ 仕入実績

当中間連結会計期間における仕入実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)	
	仕入高(百万円)	前年同期比(%)
商品販売	453	118.1

(注) 金額は、仕入価格によっております。

④ 受注実績

当中間連結会計期間における受注実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)			
	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
S I サービス業務	5,818	79.7	3,503	93.3
ソフトウェア開発業務	9,297	93.4	3,779	107.4
ソフトウェアプロダクト業務	164	96.3	98	93.3
商品販売	680	171.6	285	302.5
合計	15,960	89.6	7,667	102.6

⑤ 販売実績

当中間連結会計期間における販売実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)	
	販売高(百万円)	前年同期比(%)
S I サービス業務	5,129	95.9
ソフトウェア開発業務	9,160	113.0
ソフトウェアプロダクト業務	180	95.2
商品販売	533	131.5
その他	164	110.7
合計	15,169	106.8

(注) 主な相手先別の販売実績および当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)	
	販売高(百万円)	割合(%)	販売高(百万円)	割合(%)
(株)トヨタシステムズ	2,482	17.4	2,984	19.6